

星のかけら

Vol.32

～きらめくこの一冊～



2022年度版

図書館なんて… 読書なんて…

と、おもっているキミたちへ

宿題を調べに来るだけの図書館なんてつまらない

図書館にはいろいろな本があるのだから

キミたちの年代に

キミたちの心を動かす本と出会ってほしい

(タイトル・著者名・出版者・請求記号の順に記載しています。)

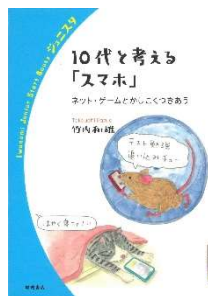
★『10代と考える「スマホ」』

竹内和雄／著 岩波書店 J00タ

スマホをついつい手放せないキミへ。

スマホでゲームしたり、友達と連絡を取り合ったりしていると、ついつい時間を忘れて夢中になって、時にはケンカやトラブルに発展することも…。

この本では、ネット依存にならないように、みんなのネットの使い方やネット上のトラブル、使う時のルールの考え方についてデータを交えて紹介しています。



★『世界とキレル』

佐藤 まどか／著 あすなろ書房 J91.3サ

3週間、スマホなしで生きられる？

夏休み、中学2年の舞^{まい}は、いとこの鏡花^{きょうか}とネットマガジンの企画である「林間学校」に参加することに。3週間のバカンスにウキウキしていたら、宿泊施設^{しゆくはくしせつ}に着いたとたんスマホは没収。他にも規則が厳しくて…そんなこと、聞いてない！

SNSの投稿^{とうこう}に夢中になっている舞にとっては絶望的な環境^{かんきょう}。スマホの世界からキレルと、どんな世界が待っているのだろう。



★『飛べないハトを見つけた日から』

クリス ダレーシー／作 相良 倫子／訳

東郷なりさ／絵 徳間書店 J93ダ

ケガをしたハトは生きている価値はないの？

12才のダリルは、公園でつばさが折れて飛べないハトを見つけた。家につれて帰ると脚^{あし}にはリングがついている。レースバトの印だ。探し当てた飼い主には、「ケガをしたハトはいらない。飛べないハトは生きている価値はない。」と言われてしまう。納得できないダリルは、必死に両親を説得し、家の物置小屋で飼い始めたのだが…。最年少レースバト飼育者となるダリル少年の勇気の物語。



★『強制終了、いつか再起動』

吉野 万理子／著 講談社 J91.3 3

薬物なんて自分とは無関係—なはずだった。

僕の名前は加地隆秋。編入した中学にはまだなじめていない。そんな僕の憧れは、大学生家庭教師の安岡さん。ある日、安岡さんの家に遊びに行くと大麻が。勧められるままに僕は手を伸ばし……。

これは、薬物使用という名の人生強制終了ボタンを押してしまった中学生加地隆秋とそれに気づいた同じクラスの伊佐木周伍、麻矢夕都希の3人が薬物の怖さと向き合っていく物語。



★『山をつくる』

菅 聖子／文 小峰書店 J65 8

将来の進路選びのヒントに。

森を育て、木を届け、未来の森をつくるという「山をつくる」仕事をしている人たちの会社があります。それが「東京チェーンソーズ」。ここで働く人の中には学校を卒業後、他の仕事からこの仕事に転職してきた人がたくさんいます。林業って、キケンで、過酷で、しんどそうなのに、どうしてこの仕事を選んだのだろう？ 林業って、実は面白いのかも？



★『法は君のためにある』

小貫篤／著 筑摩書房 J32オ

身近なトラブル、困ってませんか？

もしも、SNS に自分の画像を勝手に載せられちゃったら君はどうする？ 部活の大会に誰が出るか、もめた時はどうする？

この本ではそんな時、みんなが納得できる解決策を、法の考え方からアドバイスしています。いろんな価値観の人とともに生きていくために、この本を読んでみませんか。



★『チェスターとガス』

ケイミー・マガヴァン／作 西本かおる／訳 小峰書店 93マ

犬は最高のパートナー！

僕はチェスター、見習いの補助犬だ。パートナーのガスは、言葉を話すのが苦手な男の子。人に体を触られたり、目を合わせたりするのも苦手。でも、僕にはガスの声が聞こえるし、ガスにも僕の声が聞こえてる。ガスが5年生になると、僕はサポートドッグとして学校に一緒にいくことになった。でも、それには反対している先生もいるみたい…。ガスと僕の学校生活、一体どうなっちゃうの？！



★『境界のポラリス』

中島空／著 講談社 J91.3ナ

わたしは日本人？それとも中国人？

恵子は中国生まれ、日本育ち。今は言葉^{かべ}の壁を乗り越え^こ高校生活を送っているけど、つらい過去の経験から友達には自分が中国人だと言えない。

ある日、恵子は日本語教室「青葉夜間中学」で日本語を教えている幸太郎と出会い、外国人の生徒たちに日本語を教えることになり…。

友達や生徒たちとギクシャクしながら友情をはぐんでいく物語。



★『ハジメテヒラク』

こまつ あやこ／著 講談社 J 91.3ノ

おうえん ^{こわ}
応援したい、でも怖い…。

過去のトラウマから脳内^{じつきょう}実況をするようになった、中学 1 年生のあみ。ひよんなことから入部した^か華道部で、お世話になっている花屋さんに恩返しをするために文化祭で生け花ショーをやることに。あみは初めて実況を担当。人前での^{まき おく}実況は怖い。過去の^か大失敗の記憶と戦う日々。それでも、それぞれ事情を抱えた仲間を実況で応援したい。はたしてショーは成功するのか…。



★『12歳のロボット』

リー・ベーコン／著 大谷真弓／訳 早川書房 93ページ

もしかしたら起こりえる未来。

ぼくはロボットだ。戦争で世界を壊しはじめた人間を、ぼくたちは脅威とみなして消去した。でもある時、絶滅したはずの人間と出会った。エマと名乗った人間は、地下で生き延びていて、病気がまん延したから、地下から出てきたということを話した。ぼくは、混乱したけれどぼくのロジックに従ってエマと旅に出ることにした。そこで知った真実とは…。



不安なこと…困っていること…誰かに話してみませんか？

せいしやうねんなや そうだん
青少年悩みごと相談

ふあん こま
不安なとき・困ったとき

ひとりで悩まずご相談ください。秘密は守ります。

かわごえしやくしよ いくせいかない しょうねんしどう
川越市役所こども育成課内「少年指導センター」へ

ちよくつう
049-224-5724(直通)

◎友達のこと、学校のこと、家族のこと、心や身体のこと…。
悩みごとや心配ごとのある方、保護者の皆様、お気軽に
お電話ください。

【相談日時】 火・水・木曜日(祝・休日、年末年始除く)
午前10時～午後5時(受付:午後4時30分まで)

◎メール相談も受け付けています。

川越市 青少年悩みごと相談

検索



スマートフォンは
こちらから

図書館には児童書と一般書の中から中・高校生に
お薦めする本を集めたコーナーがあります。

ちょっと覗いてみて！



川越市立中央図書館	TEL 222-0559
西図書館	TEL 237-5660
川越駅東口図書館	TEL 228-7712
高階図書館	TEL 238-7550

川越市立図書館ホームページ

<https://www.lib.city.kawagoe.saitama.jp/>

